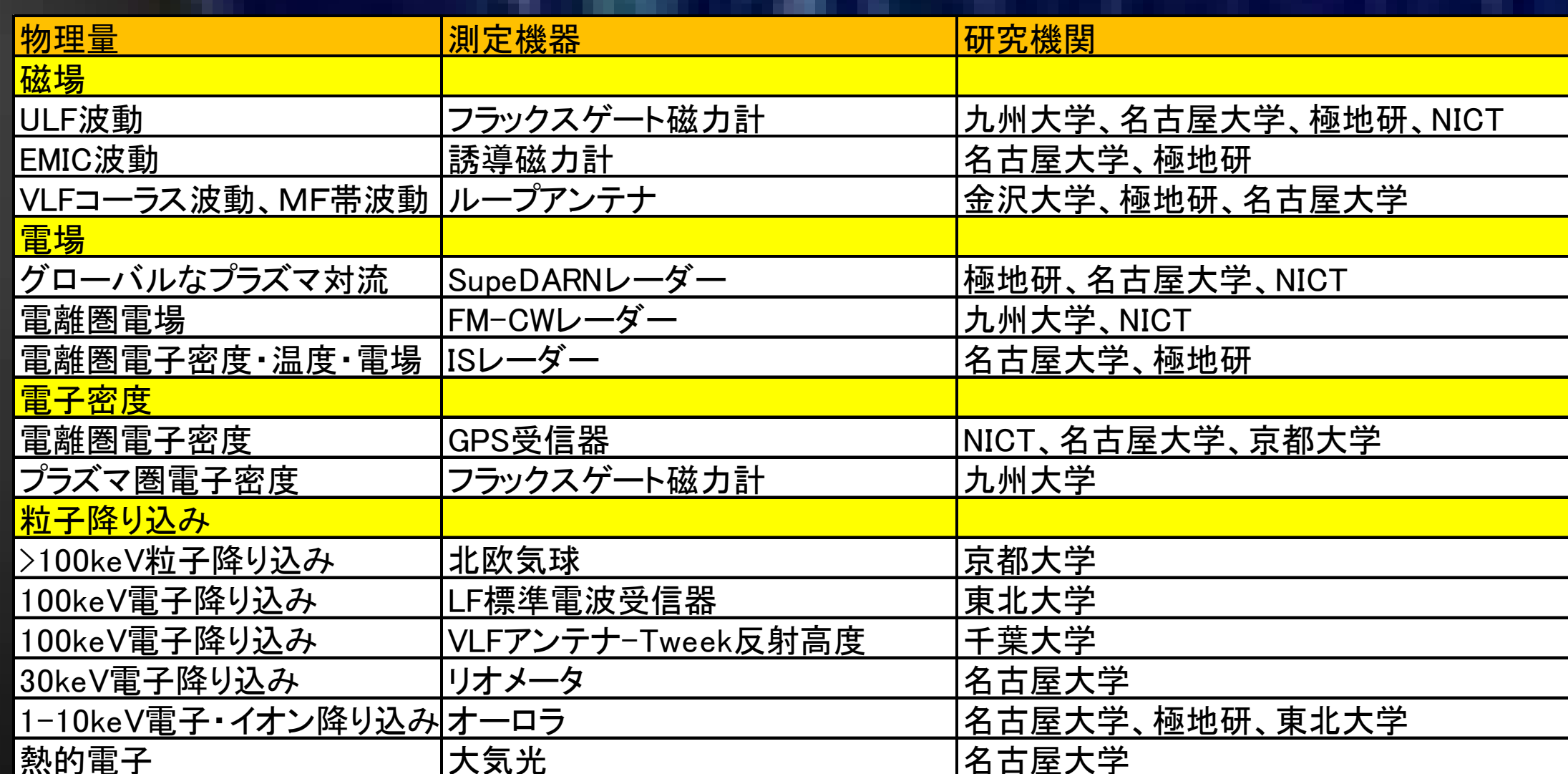
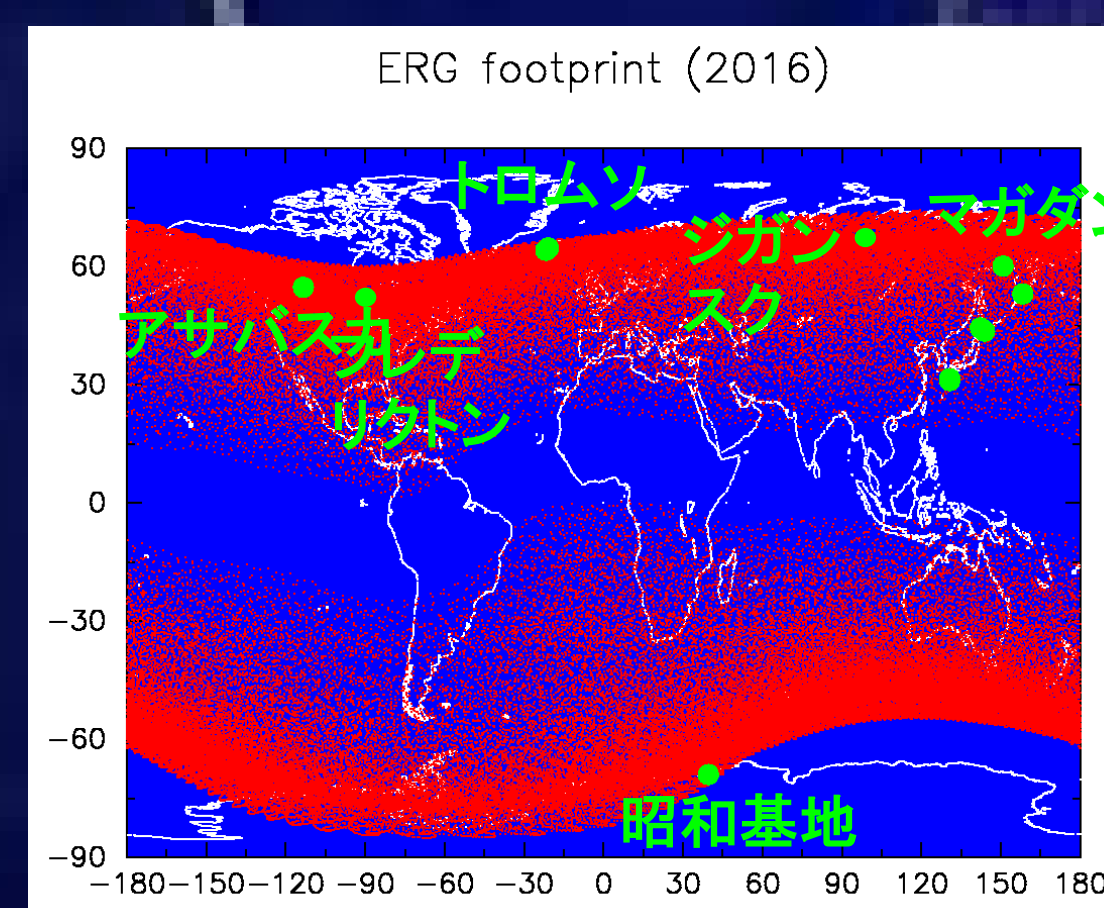


塩川和夫、阿部修司、藤井良一、橋本久美子、細川敬祐、石井守、門倉昭、河野英昭、菊池康、北村健太郎、宮下幸長、三好由純、長妻努、西谷望、尾花由紀、小川泰儒、大矢浩代、岡田雅樹、大塚雄一、大山伸一郎、尾崎光紀、才田聡子、佐藤夏雄、篠原学、田所裕康、田口寛、田中良昌、谷森達、土屋史紀、山岸久雄、吉川顕正、行松彰、湯元清文

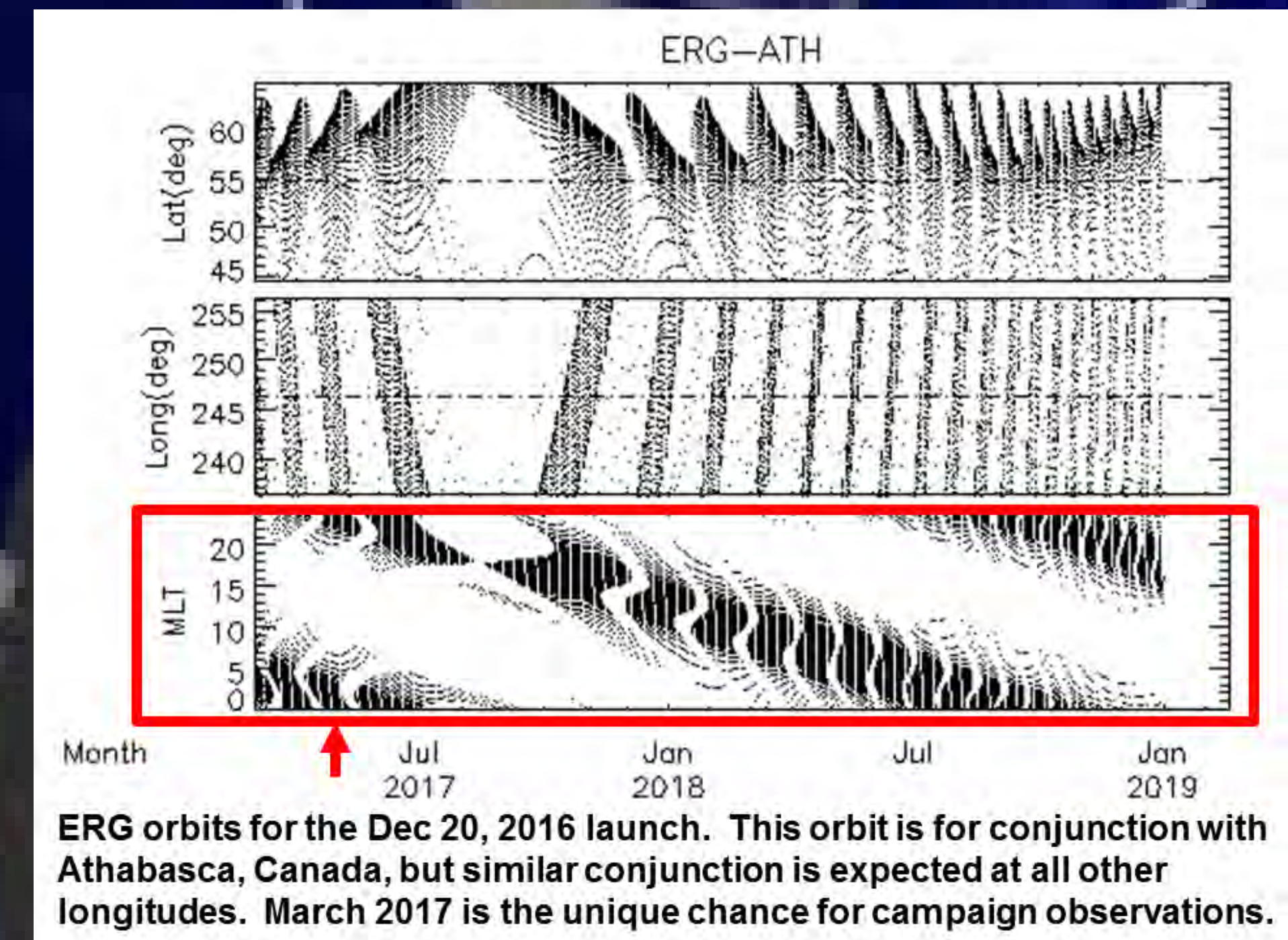
- プラズマ粒子の加速を起こす**電磁波動と粒子の相互作用**は、**磁気圏赤道面**で発生。相互作用を観測できるのは**ERG衛星のみ**。
- 内部磁気圏のプラズマ粒子や各種の波動は、磁力線に沿って地上に到達し、**高緯度の地上から観測が可能**。



ERG連携地上観測班の研究機関と測定する物理量



ERG衛星のapogeeのローカルタイム変化。2017年2-3月に真夜中過ぎ、2017年夏季に真夜中前にapogeeがやってくる。



ERG orbits for the Dec 20, 2016 launch. This orbit is for conjunction with Athabasca, Canada, but similar conjunction is expected at all other longitudes. March 2017 is the unique chance for campaign observations.

